

令和 4 事業年度決算報告書

事業報告・財務諸表

公益財団法人 市原市文化振興財団

令和4事業年度 公益財団法人市原市文化振興財団事業報告 概要

当財団は、市原市の芸術文化、生涯学習及びコミュニティを振興するため、財団の持つ専門性や総合力を活かしながら、「市原市文化振興計画」の基本理念である「ひと輝き まち輝く 文化の香り高いまち いちはら」を念頭に、行政や市民をはじめ、各種文化団体等と連携・協力しながら市内の芸術文化の振興等に寄与するため各種事業を実施しております。

令和4事業年度については、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、本市の芸術文化及びコミュニティの振興を目指して事業の推進を図るとともに、感染状況に応じて、感染防止策ガイドラインを更新するなど、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう施設の管理運営等に全力で取り組みました。

【公益目的事業】

文化事業については、業種別ガイドラインを遵守しながら、事業計画に沿って、自主文化事業、指定管理文化事業、受託文化事業の合計31事業を実施することができました。

有名アーティストの音楽公演や著名人による講演会をはじめ、文化庁の令和3年度補正予算事業「ARTS for the future!2」（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）の補助金制度を活用した「劇団四季」の演劇公演を実施したほか、著名俳人の夏井いつき氏に市民が応募した俳句を選句していただいた「いはら俳句チャレンジ」や、市原市文化団体連合会と連携し、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造や地域文化の活性化につなげることを目的とした「文化芸術ワークショップ」を昨年度に引き続き実施するなど、様々な事業展開を図ることで幅広く文化芸術に親しむことのできる機会の提供に努めました。また、新規事業として、将来の芸術家を目指す子どもたちに、より質の高いプロによる実践的な講習会を提供する「芸術家支援・育成事業」を企画し、令和4事業年度はバレエレッスンを実施しました。

施設管理事業については、感染防止策を講じながら、市原市市民会館（以下「市民会館」という。）の適切な施設運営を行いました。ホール棟は吊り物更新工事のため、4月から6月末までの期間が休館となったものの、新型コロナウイルス感染症の利用制限等の緩和に伴い、施設の利用が増加したことで、市民会館施設の利用件数及び利用者数は、令和3事業年度と比較してホール・会議室等ともに増加しました。

【収益事業等】

宴会室での飲食提供事業については、宴会室を新型コロナウイルスワクチンの接種会場として使用したため、令和3事業年度に引き続き休止としました。また、市民会館施設の利用が増加したことに伴い、各種公演のチケット受託販売事業と舞台看板、ピアノ調律等の施設利用者の利便性向上のための事業を合わせた収益は、令和3事業年度と比較し増加しました。

I 公益目的事業

1 文化事業

(1) 自主文化事業

財団の自主文化事業としては、コロナ禍で培った経験を活かし、市内の学校や公共施設等へ出向いてのアウトリーチ型事業や動画による公演の配信、文化芸術に携わる人々を育成・支援する文化振興ボランティア事業やアーティストの登録・育成事業などを実施しました。

①自主文化事業（動画再生回数は令和5年3月31日時点）

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数 視聴回数	事業概要
1	いちはら Artists Power	令和5年3月31日現在 登録アーティスト数 50 組		財団主催の事業や市民団体等が主催するイベントに出演していただける文化芸術アーティストを募集・登録し、アーティストに活躍の場を提供するほか、文化芸術の力で市原市をもっと元気にすることを目的とした育成型事業。
2	いちはら 文化振興ボランティア	令和5年3月31日現在 登録ボランティア数 25 名		財団が主催する事業において、運営をサポートしていただくボランティアを募集・登録することで、文化振興に参加する人材を育成する育成型事業。
3	文化情報紙 「おんぷ」	年 4 回発行		財団の文化事業の情報や市民会館のイベント情報等を掲載する文化情報紙を発行する広報事業。
4	伝統芸能普及事業 「かぶき」ってなんだろう！？	6月7日 8日 9日 市内小学校	1,584 名	市内各小学校に出向き日本の伝統芸能を普及し、体験を交えて身近なものに感じられることを目的とした生涯学習事業。
5	出前講座 サイエンスショー	6月28日 29日 30日 市内小学校	2,595 名	市内各小学校に出向き、市原市の将来を担う子供達に科学のおもしろさを伝えるとともに不思議な体験から、児童達の自己啓発を促し、生涯学習の一助となることを目的とした生涯学習事業。
6	「まちくる！」			「いちはら Artists Power」登録アーティスト等を活用し、動画共有サイトにて動画

	vol. 35 ～#おうちでまちくる 金管 5 重奏 コンサート vol. 36 ～#おうちでまちくる 木管 8 重奏 コンサート vol. 38 トールペイントをつく ろう！ vol. 37 春の和楽器コンサート	動画配信 7 月 15 日公開 動画配信 7 月 29 日公開 令和 5 年 2 月 20 日 光風台中央幼 稚園 2 月 23 日 ユニモちはら 台	391 回 888 回 25 名 150 名	配信するほか、市内各所でイベントを実施し、アーティスト育成及び市原市の芸術文化活動振興を目的とする育成・鑑賞型事業。 「セントラルプラス 金管 5 重奏」によるミニコンサート。（令和 3 事業年度「アンサンブルコンテスト in 市原」金賞受賞団体） 「市原市立五井中学校 木管 8 重奏」によるミニコンサート。（令和 3 事業年度「アンサンブルコンテスト in 市原」金賞受賞団体） 黒川美智子氏によるトールペイントのワークショップ。 山田雅子氏（箏）、須藤邦香氏（箏）、西林明美氏（箏）、出沼智山氏（尺八）によるミニコンサート。
7	出前寄席 蝶花楼桃花独演会	8 月 26 日 菊間コミュニティ・ 保健福祉センター 8 月 27 日 南部保健福祉 センター（なのは な館）	21 名 46 名	市民により身近な場所で伝統文化に触れる機会を提供する目的で開催する出張・鑑賞型事業。
8	親子劇場 おかあさんといっしょ	9 月 19 日 大ホール	2, 186 名	テレビでお馴染みの子供に人気の着ぐるみの公演を実施することで、これからの未

				来を背負って立ついはらの子供たちに生涯学習の機会を提供するとともに、情操教育の一助となる鑑賞型事業。
9	杉本昌隆講演会	10月22日 小ホール	305名	テレビ等でお馴染みの方による講演会を実施することで、文化芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。

②共催公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	稲川淳二の怪談ナイト	令和4年 8月7日 大ホール	中止	豪華なセットと怪談話による公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】KMミュージック
2	小椋佳コンサート	10月8日 大ホール	818名	人気歌手の公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】エニー
3	市原フィルハーモニー 管弦楽団定期演奏会	10月16日 大ホール	578名	市内のアマチュア管弦楽団の公演を共催することで、市民の音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型事業。 【主催】市原フィルハーモニー管弦楽団
4	市原市楽友協会 市民コンサート	12月4日 大ホール	680名	市内の音楽愛好家団体の公演を共催することで、市民に音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型事業。 【主催】市原市楽友協会
5	イルカ・太田裕美 コンサート	令和5年 2月4日 大ホール	824名	人気歌手の公演を共催することで、市民が芸術文化に触れる機会を増やすことを目的とした鑑賞型事業。 【主催】エニー

③支援事業

令和4事業年度の支援事業の実施はありませんでした。

(2) 指定管理文化事業

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館を市原市の文化の拠点と位置づけ、次の事業を実施しました。

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数 視聴回数	事業概要
1	芸術講座 「スマホで学ぶ！映える写真の撮り方講座」	令和4年 5月8日 会議室1・2	28名	文化芸術の知識や技能を習得する機会を提供することで、創造性豊かな新進芸術家等の発掘や育成を目的とする参加・育成型事業。
2	中島美嘉コンサート	7月8日 大ホール	789名	人気アーティストの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする事業。
3	市民会館探検ツアー	7月30日・31日 大ホール及び小ホール 30日 (1回目) 21名 (2回目) 26名 31日 (1回目) 29名 (2回目) 23名		市民会館の裏側をより深く知ってもらい、舞台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発するために実施した参加・体験型事業。
4	文化芸術 ワークショップ	7月24日 会議室棟 8月20日 ホール棟	52名 39名	市原市文化団体連合会と連携し、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造や地域文化の活性化につなげることを目的とした育成型事業。
5	いちはら俳句 チャレンジ	募集期間 7月1日～ 8月31日 結果発表 12月1日	応募人数 306人 応募句数 572句 視聴回数 674回	言語によって表現される文芸のひとつである俳句にチャレンジし、俳人の夏井いつき氏に選句される機会を提供することで、市民の創作活動の向上と文化芸術の振興を目的とした事業。夏井いつきが出演する講評動画を配信し、受賞作品を市民会館1階文化情報スペースにて展示した。
6	芸術家支援・育成事業 「バレエレッスン」	9月3日 大ホール	31名	新進芸術家等に、より質の高いプロによる実践的な講習会を提供することで、次代を

				担う芸術家を育成することを目的とする支援・育成事業。
7	県民芸術劇場 親子で楽しむ 室内管弦楽コンサート	9月10日 小ホール	386名	3歳からの子供を対象に室内楽コンサートを開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体験をすることで、未来を担う子供達にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらうことを目的とした体験・鑑賞型事業。
8	市原市文化祭 「三曲大会」 「合唱祭」 「吟詠剣詩舞大会」 「民舞大会」 「短歌大会」 「謡曲大会」 「ハワイアンフラ祭り」 「茶会」 「民謡秋まつり」	 9月25日 小ホール 9月25日 大ホール 10月23日 小ホール 10月23日 大ホール 10月23日 会議室棟 11月13日 小ホール 11月13日 大ホール 11月13日 会議室棟 11月26日 小ホール	 150名 300名 120名 300名 50名 35名 700名 60名 200名	地域の伝統や文化を育み伝承していくため、市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を設けることで、市民文化活動の活性化を図ることを目的とし、市民と協働し元気なふるさとづくりを目指す参加・鑑賞型事業。 市民や団体が箏、三弦、尺八の3種の楽器を用いて、古曲、現代曲等の演奏を披露する文化公演。 市民や団体が女声、男声、混声、手話コーラスなどの合唱を披露する文化公演。 市民や団体が吟詠に合わせ舞う剣舞と詩舞という古武道の格式と詩の心を表現する文化公演。 市内の舞踊各流派の団体が、艶やかな着物姿で踊りを披露する文化公演。 市民が応募した短歌を発表する文化事業。 幅広い世代の市民や団体が能の詞章を謡う謡曲を中心に披露する文化公演。 市民や団体がハワイアンフラの魅力を伝え、披露する文化公演。 市民や団体が茶の作法を伝え、披露する文化事業。 市民や団体が豊作、祭などに彩られる秋を舞台上で唄、三味線等で表現する文化公演。

	「アンサンブルフェスタ」	11月26日 大ホール	500名	各種の楽器演奏団が様々な形態の合奏を披露する文化公演。
	「郷土芸能大会」	11月27日 小ホール	中止	市内各地域で伝承される郷土芸能である「お囃子」や「ひょっとこ踊り」などを披露する文化公演。
	「音の輪きずな祭」	11月27日 大ホール	400名	音を楽しみ音でつながる新たな演舞スタイルを披露する文化公演。
	「歌謡祭」	12月11日 小ホール	250名	市民や団体が日頃から練習している歌謡を披露する文化公演。
	「バレエ合同公演」	12月11日 大ホール	600名	市民や団体がバレエの華麗な舞を披露する文化公演。
※市民会館以外の会場では、次の催物を実施しました。 「美術展」「凧揚げ大会」「盆栽展」「華道展」「工芸展」「俳句大会」「菊花展」「朗読音楽劇」				
9	SDGs 講演会 「石原良純講演会」	10月9日 大ホール	394名	持続可能な開発目標 SDGs の理念に沿った講演会を実施することで、市民が SDGs の取組を身近なものとして考えることを目的とする鑑賞型事業。
10	市民の日記念 夢の架け橋コンサート	11月3日 大ホール	1,240名	市内の小中学校・高等学校吹奏楽部及び合唱部で、各種大会及び音楽コンクールなどに出場し各賞に輝いた学校にその成果を披露できる場を提供するとともに、市民がその演奏や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向上を目的とした参加・鑑賞型事業。
11	生涯学習支援 「市原市中学校音楽発表会」	11月4日 大ホール	1,500名	市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発表する場を設け、音楽芸術の向上と地域社会の活性化を図ることを目的とした参加・鑑賞型事業。
	「市原市小学校音楽発表会」	11月8日 大ホール	1,500名	
	「特連文化フェスティバル」	12月9日 大ホール	500名	市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化的活動を発表する場を設け、芸術文化に親しむことで地域コミュニティの交流と教育の

				向上並びに福祉の増進を図ることを目的とした参加・鑑賞型事業。
12	劇団四季「人間になりたがった猫」 【ARTS for the future !2 活用】	12 月 27 日 大ホール	1,303 名	優れた舞台芸術の公演を実施することで、市民に高度な舞台技術と芸術に触れる機会を提供し、文化芸術振興を目的とした鑑賞型事業。
13	奥田民生コンサート	令和 5 年 1 月 28 日 大ホール	1,210 名	人気アーティストの公演を実施することで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする事業。
14	いちはら名人寄席	2 月 5 日 小ホール	412 名	日本の伝統話芸である落語を鑑賞する場を提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機会をつくるとともに、豊かな文化と芸術の振興を目的とした鑑賞型事業。
15	市民参加型事業 ICHIHARA ダンスパフォー マンスステージ DLiVE	3 月 26 日 大ホール	897 名	市民や団体と財団が協働して作り上げる熱気あふれるステージを披露した市民参加型事業。

(3) 受託文化事業

市原市から「更級日記千年紀文学賞授賞式」及び「更級日記千年紀フォーラム」の運営業務を受託しました。

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
1	更級日記千年紀 文学賞授賞式	令和 4 年 11 月 23 日 小ホール	75 名	市原市の主催する「更級日記千年紀文学賞授賞式」の運営業務を受託する事業。
2	更級日記千年紀 フォーラム (加賀美幸子講演会)	11 月 28 日 小ホール	215 名	市原市の主催する「更級日記千年紀フォーラム」の運営業務を受託する事業。

2 施設管理運営事業

(1) 施設管理及び施設貸出

①ホール・会議室等の貸出業務

施設貸出業務は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、感染防止対策ガイドラインの更新等を実施し、安心・安全な施設貸出を目指しました。令和4事業年度は、ホール棟の吊り物更新工事のため、ホール棟が4月から6月末まで休館となったものの、令和3事業年度と比べ利用件数及び利用者数ともに増加しました。

ア. 利用件数

(単位：件)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和3年度	147	175	1,423	0	1,745
令和4年度	159	188	1,735	0	2,082
前年度対比	108.1%	107.4%	121.9%	—	119.3%

イ. 利用者数

(単位：人)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和3年度	46,139	21,950	27,972	0	96,061
令和4年度	60,680	30,490	32,956	0	124,126
前年度対比	131.5%	138.9%	117.8%	—	129.2%

②保守点検・管理業務委託

利用者の安全、安心を最優先に考え、設備機器等の保全を図るため、下記のとおり保守点検等を委託しました。また、修繕が必要な箇所については、優先順位を付けて限られた修繕予算を有効に活用しました。

番号	委託業務名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	消防設備保守業務委託
4	昇降機保守業務委託
5	吸収冷温水機保守業務委託
6	ホール舞台保守業務委託
7	ホール照明保守業務委託
8	放送装置保守業務委託
9	ピアノ保守業務委託
10	電話交換機設備保守業務委託
11	一般廃棄物処理業務委託

12	産業廃棄物処理業務委託
13	ストレージタンク性能検査に伴う受検準備整備委託
14	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託
15	窒素酸化物濃度測定業務委託
16	飲料水水質検査委託
17	簡易専用水道検査委託

II 収益目的事業

1 宴会室における飲食提供事業

令和4事業年度の飲食提供事業は休止いたしました。

2 その他公益目的事業の推進に資する事業

(1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施しました。

(2) 施設利用者の利便性向上のための事業

市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律等の利用者サービス事業を実施しました。

III その他の事業

施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理を行う事業を実施しました。

IV その他

1 理事会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第1回	4年5月16日	第1号	令和3事業年度公益財団法人市原市文化振興財団事業報告について	原案承認
		第2号	令和3事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認

		第 3 号 第 4 号	団収支決算について 令和 4 事業年度第 1 回評議員会の開催について 公益財団法人市原市文化振興財団諸規程の一部 改正について	原案可決 原案可決
第 2 回	4 年 12 月 15 日	第 5 号 第 6 号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程 等の一部改正について 令和 4 事業年度第 2 回評議員会について	原案可決 原案可決
第 3 回	5 年 3 月 2 日	第 7 号 第 8 号 第 9 号 第 10 号 第 11 号 第 12 号 第 13 号 第 14 号	収支相償に向けた新たな方針（案）について 特定費用準備資金「自主文化事業実施準備資金」 の保有について 令和 4 事業年度公益財団法人市原市文化振興財 団収支補正予算（第 1 号）について 令和 5 事業年度公益財団法人市原市文化振興財 団事業計画について 令和 5 事業年度公益財団法人市原市文化振興財 団収支予算について 公益財団法人市原市文化振興財団育児休業及び 育児短時間勤務に関する規則等の一部改正につ いて 役員賠償責任保険の加入について 令和 4 事業年度第 3 回評議員会の開催について	原案可決 原案可決 原案承認 原案修正の うえ承認 原案承認 原案可決 原案可決 原案可決

※令和 4 事業年度第 2 回理事会は、決議の省略による。

2 評議員会について

回数	開催年月日	提出議案		経過
第 1 回	4 年 5 月 31 日	第 1 号 第 2 号 第 3 号 第 4 号	令和 3 事業年度公益財団法人市原市文化振興財 団事業報告について 令和 3 事業年度公益財団法人市原市文化振興財 団収支決算について 理事の選任について 監事の選任について	原案承認 原案承認 原案可決 原案可決
第 2 回	4 年 12 月 19 日	第 5 号	公益財団法人市原市文化振興財団の役員等の報 酬等及び費用弁償の支給に関する規程の一部改	原案可決

			正について	
第 3 回	5 年 3 月 16 日	第 6 号	理事の選任について	原案可決

※令和 4 事業年度第 2 回評議員会は、決議の省略による。

3 職員に関する事項

① 研修会・講習会

令和 4 事業年度は、4 月から 6 月末までの期間でホール棟の吊り物更新工事が行われ、ホール棟が休館となったことから、その期間を利用してホール班職員を千葉県立千葉県文化会館へ派遣し、ホールの管理運営や舞台技術、安全対策等の施設管理スキルの向上を図りました。また、オンラインで開催された全国公立文化施設協会が実施する全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会に職員全員が受講したのをはじめ、各職員がオンラインや各会場での研修会、講習会等を受講し、今後の文化振興や事業企画、施設管理について、知識の習得やスキルアップを図りました。

②職員数の推移

区分	令和 2 年度末（人）		令和 3 年度末（人）		令和 4 年度末（人）	
職務の級	一般職	事業年度雇用職員	一般職	事業年度雇用職員	一般職	事業年度雇用職員
7	1		1		1	
6	1		1		1	
5						
4	3		3		3	
3	1		1		1	
2	3		3		3	
1	2		1		2	
臨時職等		2		2		2
計	1 1	2	1 0	2	1 1	2

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	103,265,373	137,208,779	△ 33,943,406
未収金	46,403,499	33,822,900	12,580,599
前払金	177,540	0	177,540
立替金	103,607	2,757,541	△ 2,653,934
未収消費税	0	216,800	△ 216,800
繰延税金資産	0	1,907,427	△ 1,907,427
流動資産合計	149,950,019	175,913,447	△ 25,963,428
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	83,948,910	79,129,076	4,819,834
自主文化事業安定継続実施準備資金	0	10,529,000	△ 10,529,000
自主文化事業実施準備資金	20,000,000	0	20,000,000
特定資産合計	103,948,910	89,658,076	14,290,834
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2,023,572	2,023,572	0
什器備品	9,131,200	9,131,200	0
減価償却累計額	△ 9,534,240	△ 9,136,540	△ 397,700
電話加入権	101,300	101,300	0
ソフトウェア	127,964	204,740	△ 76,776
繰延税金資産	2,158,405	0	2,158,405
その他固定資産合計	4,008,201	2,324,272	1,683,929
固定資産合計	110,957,111	94,982,348	15,974,763
資産合計	260,907,130	270,895,795	△ 9,988,665
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	66,000	50,600	15,400
未払金	12,406,468	17,862,968	△ 5,456,500
前受金	0	0	0
預り金	5,982,156	6,233,672	△ 251,516
未払法人税等	901,700	390,800	510,900
未払消費税等	3,981,600	0	3,981,600
流動負債合計	23,337,924	24,538,040	△ 1,200,116
2. 固定負債			
退職給付引当金	83,948,910	79,129,076	4,819,834
受入保証金	0	0	0
固定負債合計	83,948,910	79,129,076	4,819,834
負債合計	107,286,834	103,667,116	3,619,718
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	150,620,296	164,228,679	△ 13,608,383
	20,000,000	10,529,000	9,471,000
正味財産合計	153,620,296	167,228,679	△ 13,608,383
負債及び正味財産合計	260,907,130	270,895,795	△ 9,988,665

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	60	60	0
基本財産受取利息	60	60	0
特定資産運用益	1,284	2,084	△ 800
特定資産受取利息	1,284	2,084	△ 800
事業収益	251,709,924	258,966,449	△ 7,256,525
施設管理事業収益	152,953,989	148,942,682	4,011,307
指定文化事業収益	39,092,421	26,757,545	12,334,876
自主文化事業収益	5,163,637	31,874,632	△ 26,710,995
受託文化事業収益	1,284,200	0	1,284,200
施設貸出事業収益	50,984,667	49,647,561	1,337,106
飲食提供事業収益	0	0	0
受託販売事業収益	575,372	699,446	△ 124,074
利便性向上事業収益	1,655,638	1,044,583	611,055
雑収益	33,592	15,936	17,656
雑収益	33,584	15,928	17,656
受取利息	8	8	0
経常収益計	251,744,860	258,984,529	△ 7,239,669
(2) 経常費用			
事業費	263,216,373	273,024,619	△ 9,808,246
出演料	40,972,038	59,518,782	△ 18,546,744
仕入	757,548	440,273	317,275
給料手当	73,142,930	70,935,468	2,207,462
役員報酬	8,908,709	9,000,888	△ 92,179
退職給付費用	4,771,636	4,686,568	85,068
法定福利費	12,909,286	12,602,688	306,598
福利厚生費	593,565	484,774	108,791
光熱水費	40,022,123	28,099,383	11,922,740
旅費交通費	26,941	2,647	24,294
消耗品費	4,089,077	3,242,252	846,825
印刷製本費	48,000	0	48,000
図書購入費	38,172	42,691	△ 4,519
委託料	56,774,100	61,115,490	△ 4,341,390
賃借料	4,671,085	3,628,941	1,042,144
燃料費	28,329	21,316	7,013
広告宣伝費	5,474,223	7,258,175	△ 1,783,952
通信運搬費	1,092,782	1,528,088	△ 435,306
租税公課	128,200	560,100	△ 431,900
修繕費	4,000,000	3,954,800	45,200

科 目	当年度	前年度	増減
支払手数料	2,527,600	3,402,403	△ 874,803
負担金	180,500	182,000	△ 1,500
経理費	625,000	625,000	0
保険料	469,240	385,550	83,690
雑支出	490,813	427,727	63,086
減価償却費	474,476	878,615	△ 404,139
管理費	1,484,148	1,674,529	△ 190,381
給料手当	738,802	716,504	22,298
役員報酬	323,975	351,906	△ 27,931
退職給付費用	48,198	47,339	859
法定福利費	130,390	127,291	3,099
福利厚生費	5,998	4,898	1,100
旅費交通費	14,892	36,720	△ 21,828
修繕費	19,302	101,400	△ 82,098
印刷製本費	105,000	127,228	△ 22,228
交際費	10,000	11,431	△ 1,431
消耗品費	13,014	20,111	△ 7,097
広告宣伝費	0	0	0
研修費	0	0	0
保険料	70,000	70,000	0
雑支出	4,577	59,701	△ 55,124
経常費用計	264,700,521	274,699,148	△ 9,998,627
当期経常増減額	△ 12,955,661	△ 15,714,619	2,758,958
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	2,000	0	2,000
固定資産除却損	0	2	△ 2
経常外費用計	2,000	2	1,998
当期経常外増減額	△ 2,000	△ 2	△ 1,998
税引前当期一般正味財産増減額	△ 12,957,661	△ 15,714,621	2,756,960
法人税、住民税及び事業税	901,700	390,800	510,900
法人税等調整額	△ 250,978	2,009,873	△ 2,260,851
当期一般正味財産増減額	△ 13,608,383	△ 18,115,294	4,506,911
一般正味財産期首残高	164,228,679	182,343,973	△ 18,115,294
一般正味財産期末残高	150,620,296	164,228,679	△ 13,608,383
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	153,620,296	167,228,679	△ 13,608,383

正味財産増減計算内訳書

令和4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計					法人会計	合計
	公 1	小 計	収 1	収 2	他 1	共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	60	60	0	0	0	0	0	0	60
基本財産利息収益	60	60					0		60
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	1,284	1,284
特定資産利息収益		0					0	1,284	1,284
事業収益	198,494,247	198,494,247	0	2,231,010	50,984,667	0	53,215,677	0	251,709,924
施設管理事業収益	152,953,989	152,953,989					0		152,953,989
指定文化事業収益	39,092,421	39,092,421					0		39,092,421
自主文化事業収益	5,163,637	5,163,637					0		5,163,637
受託文化事業収益	1,284,200	1,284,200							1,284,200
施設貸出事業収益		0			50,984,667		50,984,667		50,984,667
飲食提供事業収益		0	0				0		0
受託販売事業収益		0		575,372			575,372		575,372
利便性向上事業収益		0		1,655,638			1,655,638		1,655,638
雑収益	15,250	15,250	0	0	0	300	300	18,042	33,592
雑収益	15,250	15,250				300	300	18,034	33,584
受取利息		0	0				0	8	8
経常収益計	198,509,557	198,509,557	0	2,231,010	50,984,667	300	53,215,977	19,326	251,744,860
(2) 経常費用									
事業費	215,398,084	215,398,084	0	2,358,312	45,459,977	0	47,818,289		263,216,373
出演料	40,972,038	40,972,038					0		40,972,038
仕入	0	0	0	757,548			757,548		757,548
給料手当	58,366,580	58,366,580	0	738,802	14,037,548		14,776,350		73,142,930
役員報酬	7,108,972	7,108,972	0	89,975	1,709,762		1,799,737		8,908,709
退職給付費用	3,807,670	3,807,670	0	48,198	915,768		963,966		4,771,636
法定福利費	10,301,362	10,301,362	0	130,390	2,477,534		2,607,924		12,909,286
福利厚生費	473,655	473,655	0	5,998	113,912		119,910		593,565
光熱水費	30,016,595	30,016,595			10,005,528		10,005,528		40,022,123

旅費交通費	26,941	26,941	0				0		26,941
消耗品費	3,290,911	3,290,911	0		798,166		798,166		4,089,077
印刷製本費	36,000	36,000	0		12,000		12,000		48,000
図書購入費	28,629	28,629			9,543		9,543		38,172
委託料	42,954,852	42,954,852	0	340,000	13,479,248		13,819,248		56,774,100
賃借料	4,441,525	4,441,525	0	0	229,560		229,560		4,671,085
燃料費	21,247	21,247			7,082		7,082		28,329
広告宣伝費	5,474,223	5,474,223	0		0		0		5,474,223
通信運搬費	923,140	923,140	0		169,642		169,642		1,092,782
租税公課	107,600	107,600	0	600	20,000		20,600		128,200
修繕費	3,000,000	3,000,000			1,000,000		1,000,000		4,000,000
支払手数料	2,152,048	2,152,048		238,746	136,806		375,552		2,527,600
負担金	133,570	133,570	0	1,805	45,125		46,930		180,500
経理費	462,500	462,500	0	6,250	156,250		162,500		625,000
保険料	351,931	351,931			117,309		117,309		469,240
雑支出	490,813	490,813					0		490,813
減価償却費	455,282	455,282			19,194		19,194		474,476
管理費								1,484,148	1,484,148
給料手当								738,802	738,802
役員報酬								323,975	323,975
退職給付費用								48,198	48,198
法定福利費								130,390	130,390
福利厚生費								5,998	5,998
旅費交通費								14,892	14,892
修繕費								19,302	19,302
印刷製本費								105,000	105,000
交際費								10,000	10,000
消耗品費								13,014	13,014
広告宣伝費								0	0
研修費								0	0
保険料								70,000	70,000
雑支出								4,577	4,577
経常費用計	215,398,084	215,398,084	0	2,358,312	45,459,977	0	47,818,289	1,484,148	264,700,521

当期経常増減額	△ 16,888,527	△ 16,888,527	0	△ 127,302	5,524,690	300	5,397,688	△ 1,464,822	△ 12,955,661
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	2,000	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
雑損失	2,000	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	△ 2,000	△ 2,000	0	0	0	0	0	0	△ 2,000
他会計振替額	2,634,901	2,634,901	0	0	△ 2,634,901	0	△ 2,634,901	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 14,255,626	△ 14,255,626	0	△ 127,302	2,889,789	300	2,762,787	△ 1,464,822	△ 12,957,661
法人税、住民税及び事業税		0				901,700	901,700		901,700
法人税等調整額		0				△ 250,978	△ 250,978		△ 250,978
当期一般正味財産増減額	△ 14,255,626	△ 14,255,626	0	△ 127,302	2,889,789	△ 650,422	2,112,065	△ 1,464,822	△ 13,608,383
一般正味財産期首残高	142,730,861	142,730,861	40,393,718	12,428,847	70,972,515	△ 71,532,679	52,262,401	△ 30,764,583	164,228,679
一般正味財産期末残高	128,475,235	128,475,235	40,393,718	12,301,545	73,862,304	△ 72,183,101	54,374,466	△ 32,229,405	150,620,296
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	131,475,235	131,475,235	40,393,718	12,301,545	73,862,304	△ 72,183,101	54,374,466	△ 32,229,405	153,620,296

※事業区分について

公益目的事業（公1）・・・芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等（収1）・・・宴会室における飲食提供事業

収益事業等（収2）・・・その他公益目的事業の推進に資する事業（チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業）

収益事業等（他1）・・・市原市から指定された施設の管理運営事業（公益目的以外の施設貸出事業）

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

ソフトウェア 定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 自己都合退職による期末退職給与の要支給額100%に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理 税抜き方式によっている。

(4) 税効果会計の適用 法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な正味財産増減額を計上するため税効果会計を適用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	79,129,076	4,819,834	0	83,948,910
自主文化事業安定継続実施準備資金	10,529,000	0	10,529,000	0
自主文化事業実施準備資金	0	20,000,000	0	20,000,000
小 計	89,658,076	24,819,834	10,529,000	103,948,910
合 計	92,658,076	24,819,834	10,529,000	106,948,910

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債の対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	—
小 計	3,000,000	3,000,000	0	—
特定資産				
退職給付引当資産	83,948,910	0	0	83,948,910
自主文化事業安定継続実施準備資金	0	0	0	0
自主文化事業実施準備資金	20,000,000	0	20,000,000	0
小 計	103,948,910	0	20,000,000	83,948,910
合 計	106,948,910	3,000,000	20,000,000	83,948,910

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法による減価償却を行っているもの）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア（公益法人会計DX）	383,884	255,920	127,964
ソフトウェア（給与DX）	201,883	201,883	0
ソフトウェア（固定資産DX）	152,533	152,533	0
ソフトウェア（調定用ソフト）	936,000	936,000	0
合 計	1,674,300	1,546,336	127,964

5 引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	79,129,076	4,819,834	0	0	83,948,910

6 税効果会計関係

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

一時差異名	前期末残高	当期末残高	増減額
未払事業税	15,894	41,265	25,371
退職給与引当金	1,891,533	2,117,140	225,607
合 計	1,907,427	2,158,405	250,978

7 関連当事者との取引

該当事項はありません。

8 重要な後発事象

該当事項はありません。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記 2、3 に記載をしているので、内容の記載を省略している。

2 引当金の明細

財務諸表に対する注記 5 に記載をしているので、内容の記載を省略している。

財 産 目 録
令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	手元保管	運転資金	245,400
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、指定管理料	41,278,859
	千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、自主財源	59,919,588
	千葉興業銀行 五井支店	"	940,353
	京葉銀行 国分寺台支店	"	459,477
	千葉信用金庫 五井支店	"	156,180
	館山信用金庫 若宮支店	"	132,761
	みずほ銀行 五井支店	"	1,681
	市原市農業協同組合 本店	"	131,074
未収金		2・3月分指定管理料等	46,403,499
前払金			177,540
立替金			103,607
未収消費税			0
流動資産合計			149,950,019
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	みずほ銀行五井支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	3,000,000
基本財産合計			3,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産			83,948,910
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	職員の退職手当支払準備	19,562,761
定期預金	みずほ銀行 五井支店	"	7,000,000
	千葉銀行 市原市役所出張所	"	10,000,000
	千葉興業銀行 五井支店	"	10,000,000
	京葉銀行 国分寺台支店	"	10,000,000
	千葉信用金庫 五井支店	"	7,386,149
	館山信用金庫 若宮支店	"	10,000,000
	市原市農業協同組合 本店	"	10,000,000
自主文化事業安定継続実施準備資金			0
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所		0
自主文化事業実施準備資金		将来の自主文化事業財源として使用	20,000,000
普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所		20,000,000
特定資産合計			103,948,910
(3) その他固定資産			
車両運搬具		公用車	2,023,572
什器備品		アウトリーチ機材等	9,131,200
減価償却累計額			△ 9,534,240
電話加入権			101,300
ソフトウェア		会計システム等	127,964
繰延税金資産		税効果会計分	2,158,405
その他固定資産合計			4,008,201
固定資産合計			110,957,111
資産合計			260,907,130
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金		3月分仕入	66,000
未払金		文化事業費等	12,406,468
前受金			0
預り金		払戻チケット等	5,982,156
未払消費税等			3,981,600
未払法人税等			901,700
流動負債合計			23,337,924
2. 固定負債			
退職給付引当金		職員の退職手当支払準備	83,948,910
固定負債合計			83,948,910
負債合計			107,286,834
正味財産			153,620,296